

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	28	・入所者様・家族様の希望の把握。 ・何もしない時間を少なくする。 ・個人の趣味の時間を尽作る。	本人様が施設での生活に不満なく過ごす。	出来るだけ入所者様の意向に反映できるように会話を多くしニーズを引き出す。月一回の会議で職員内で検討する。	2ヶ月
2	23	・外出制限による気分の低下 ・面会制限によるストレス	外出の機会を設ける。	近所の神社までの散歩など、職員の人数が多い時は機会を増やす。食事をとりに行く時は入所者様に声かけて外出する。家族の面会は玄関で距離を執り行う。	1ヶ月
3	6 52	・機能低下防止 ・嚥下能力向上	現在の機能を維持し、いつまでもあそくだで生活ができる。	椅子に座っていることが多い入所者様には声掛けし、少しでも体を動かして頂く。レクの際も嚥下訓練をして機能維持を図り体操の機会も多くなる。	2ヶ月
4	49	・備品の劣化がみられる。 ・リフト浴がなく、シャワー浴対応となっている。	備品を大切に使用し、劣化を防ぐ。シャワー浴対応の入所者様には温度に注意し環境整備を行う。	ホーム備品の確認を行う。要望を伺う機会を活用して観てみたい聴いてみたいものを利用者様にお尋ねする。備品の購入。R4.7/15、全ベット交換。	2ヶ月
5	45				3ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。